

公使の別荘あり湖水は海拔四四三〇尺東西約三里南北約一里半周圍凡そ八里にして附近寺ヶ崎老松ヶ崎菖蒲ヶ瀨等の勝地あり湯本温泉まで三里車馬通ず途中龍頭ヶ瀨湯瀑あり温泉は硫黄泉にして旅舎は北岸白根山の麓にあり風光明媚の勝地とす湖畔に高さ二丈餘りの唐銅大鳥居あり是れ二荒山神社にして登山者は前の禪頂小屋にして沐浴して登る男體山は絶頂まで約二十四町の急峻なりさるましの接待禪頂口より十三町富士筑波の諸山を眺め得べし五合目の黒木界此より上榎の密林あり瀧尾の神胎内潜りの洞穴彌陀ヶ原對面岩等あり噴火口は直徑約千三百尺あり湖畔の禪頂より七町を下れば關東の名瀑華嚴の瀑に至る直下すること約五十餘丈幅凡そ三間あり途中白雲瀧ありそれより平地に昇りて二三町下れば大平に石標あり「從是華嚴道」と記す劔ヶ峰の茶屋に下れば般若方等の雨瀑を望む此邊遠く日光方面鬼怒川等を瞰睨し眺望極めて佳なり之れより約半里の坂を下りて更に半里進めば岩の鼻電車停留場に着す賃金は日光まで二十五錢なりとす。

新著紹介

數學 (第一回)

- 數學叢書 林鶴一著 第十八編マデアリ
- 高等數學講義 方程式論 松村定次郎著
- 同 高等代數學 松村定次郎著
- 同 平面解拆幾何學 宮本藤吉著

- 同 微分學 根津千治著
- 同 積分學 根津千治著
- 同 應用數學 松村定次郎著
- 新主義數學 上卷 文部省
- 高等代數學 高木貞治著
- 代數的解拆論 河野德助著
- 最近微分積分學精義 河野德助著
- 微分積分講義 刈屋他人次郎著
- コンツェルニ初等幾何學 第一卷 小倉金之助譯
- 第二卷
- 幾何學作圖題解法 三守守譯
- 幾何學 上卷 榊正董共著
- 下卷 田畑梅次郎共著
- で氏一平面三角法 山下安太郎譯
- で氏一平面幾何研究法 吉田好九郎譯
- 模範三角法問題解義 宮本藤吉著
- 三角形作圖題分類 荒川乙吉共著
- 高木安次郎共著
- 高等商業數學 小林行昌著
- 文部省教員檢定試驗數學科問題解義集 東京物理學校同窓會編
- 珠算精義 玉置哲二共著
- 石橋梅吉
- きば一と微分學 吉田好九郎譯
- きば一と積分學 吉田好九郎譯
- 算術演習書 森岩太郎編 (森)

物理

- 京都帝國大學教授 理學博士 水野敏之丞著
- 電子論

原 子 論

續 原 子 論

工學博士・鳥瀉右一著

鳥瀉無線電信電話 (乙部)

化 學

東京工科大学助教授 工學博士 田中芳雄 共編  
同 工學士 喜多源逸

有機製造工業化學 菊列洋裝 全三冊 上卷

紙數五百九十餘頁  
圖版壹百餘種  
正價金貳圓五拾錢

紙數七百六十餘頁  
中卷 圖版二百四十餘種  
正價金參圓參拾錢

紙數五百四十四頁附錄二十四頁  
下卷 圖版三百餘種  
正價貳圓七拾錢

第一編 總論。第二編 脂肪油・脂肪及び蠟…脂肪油・脂肪及蠟の化學○油脂類の工業的採製法○油脂及び蠟の精製・脱臭及漂白○工業用油脂及蠟。第三編 石鹼・油脂鹼化の理論○石鹼の性状及洗淨作用○石鹼製造原料○石鹼の分類及製造法。第四編 脂肪酸及グリセリン…油脂の分解法○脂肪酸(ステアリン及オレイン)○グリセリン。第五編 液體脂肪酸及脂肪油の硬化…電気法○觸媒法。第六編 ロート油(土耳其赤油)。第七編 護謨代用品○褐色フアグチス○白色フアグチス○油護謨○護謨代用品の性状及應用。第八編 ペイント…假漆及漆(附 樹脂工業)…ペイント物性香料○動物性香料○人造香料。第一一編 護謨…護謨産出植物及其造林○ラテツキスの採集○ラテツキスの性質○凝固法○諸種の栽培護謨及天然護謨○護謨の性質○成分構造及合成法○護謨の加硫法理論○護謨品の製法○加硫法○護謨の性状○諸種製品の製法○廢棄護謨の回收○硬質護謨。第一二編 「ガツタパーチャ及パラダ」。第一三編 鞣皮…生皮○製革用水○裸皮の製造○タンニン劑○鞣皮の理論○植物性鞣法○礦物性鞣法○油鞣法及フォルマリン○仕上工程。第一四編 膠及セラチン附録。第一五編 炭水化合物。第一六編 蔗糖及び甜菜糖…砂糖の性状○蔗糖製造法○甜菜糖製造法○蘆粟…糖楓及びパルムより砂糖の製造法○甘蔗搾取○砂糖の統計。第一七編 飴及び麥芽糖。第一八編 澱粉糖及び果糖。第一九編 可溶性澱粉及びデキストリン(糊精)。第二〇編 澱粉…澱粉總論○澱粉製造原料○澱粉製造法○澱粉の統計。第二一編 纖維素總論。第二二編 製紙工業…紙製造の沿革○紙の意義及び分類○製紙用纖維原料○紙製造法○人造絹絲…人造絹絲の沿革○人造絹絲の製造

法○人造絹絲の性質。第二五編 セルロイド…セルロイドの成分起原及び性質○硝化綿の製造○セルロイドの統計。第二六編 ガラリツト及びペークライト。第二七編 醱酵總論…醱酵學歴史○酵素の一般的性質○酵素○醱酵微生物○絲狀菌○バクテリア(細菌或五分裂菌)○醱酵菌族研究法並に純粹酵母培養法。第二八編 酒精火酒及び壓搾酵母…原料○麥芽の製造○原料の蒸煮法及び之れに必要な器具○糖化法○醱製造法或は酒母培養○醱の醱酵○絲狀菌を應用せる酒精製造法○糖蜜○甜菜根其他含糖果實○木材より酒精の製造○合成的製造或は礦物性酒精○酒精生産歩合○蒸餾○酒精の應用及び變性○蒸餾殘渣○壓搾酵母○火酒。第二九編 麥酒…原料○糖化法○清澄濾過○煮沸○冷却○醱酵○麥酒の成分○麥の病害○瓶詰及び殺菌○麥酒の統計。第三〇編 葡萄酒及び果實酒…葡萄酒○林禽酒○他の果實酒○葡萄酒類の統計。第三一編 清酒…原料○製麴○醱或は酒母○醱仕込○火入貯藏等○清酒の統計。第三二編 醬油…原料○麴の製造○釀造法○壓搾○壓搾液の處理及び性質○醬油釀造に關する學術の改良及び諸種の改良考案○溜。第三三編 酢附録。第三四編 石油及び其製品(附天然瓦斯)…石油の沿革○石油の性状○原油の元素的組成○原油の成分○石油の根原○原油採取法○石油精製法(製油法)○石油諸製品の用途○天然瓦斯。第三五編 アスファルト及び地蠟(附セレシソ)…アスファルト○地蠟又はオゾケライト(附セレシソ)。第三六編 石炭瓦斯…石炭瓦斯の沿革○石炭瓦斯製造概説○瓦斯爐○瓦斯爐の操作○瓦斯の冷却及び精製○瓦斯計量器(瓦斯メートル)○瓦斯溜器(瓦斯ホルダー 瓦斯壓力調整器。第三七編 工業用瓦斯概論…普通發生爐瓦斯○半水性瓦斯○混合瓦斯○水性瓦斯○空氣瓦斯○油瓦斯○アセチレン瓦斯。第三八編 石炭タール…石炭タールの成分○タール生成の理論○石炭タールの評價○石炭タールの脱水○石炭タール直接の用途○石炭タールの蒸溜○タール蒸溜生成物。第三九編 木材乾溜…木材○熱の木材に及ぼす影響○木材乾溜主要産物の性質○炭燒法○乾溜作業○酸液の處理○木タール處理○アセトン及び主要なる醋酸化合物。第四〇編 色素…天然色素○人造色素レーキ色素。第四一編 染色術…染色法と塗色法並に染色理論○染料及び染色用藥品○精練及び漂白○浸染法○捺染法。第四二編 インキ類…インキの分類○筆記インキ○印刷インキ○複寫インキ(コピーインクインキ)○記標インキ○インキ類の統計。第四三編 蛋白質の工業…蛋白質○アルブミン○カゼイン○レグミン及び大豆蛋白質。第四四編 工業用有機化學藥品…有機溶劑○消毒劑及び防腐劑○有機酸類○有機鹽類及び人造甘味劑○有機化學藥品類の統計。

附録獨逸に於ける化學工業殊に有機化學工業。(平田)

動 物

○内田清著 日本鳥類圖說 續編 一冊  
定價金四圓 京橋尾張町 警醒社書店發行

此書ハ前ニ御紹介シタ日本鳥類圖說上下二卷(大正三年末發行ノ會報ニアリ)ノ後ヲ受ケテ臺灣島及ビ朝鮮産鳥類全部ヲ記述シ附録ニハ滿洲産鳥類目錄ガアル是デ此鳥類圖說ハ完結シタトノ事デアアル。

○理學士 石川千代松著 動物學講義 中卷 一冊  
定價金參圓五拾錢 神田今川小路金刺芳流堂發行

此著上卷ハ大正二年ノ發行デ直グ中卷ノ出ル様ニ期待サレテ居タノガ今日迄遅クナツタノデ著者モ此點ハ非常ニ氣ノ毒ガツテ下卷ハ大急ギデ出スト言ツテ居ラレル此卷ハ初カラ各論デ原生動物ニ初マリ節肢動物ニ終ツテ居ル各門共目マデハ割合ニ簡單ニ説明セラレ科屬種類ハ學術上必要ナルモノ、外ハ總テ本邦産ノモノヲ掲グ卷末ノ索引ハ科名迄ト原語對邦語ノ分ハ譯語ノアルモノダケニ止メ、置イタトハ著者ノ言葉デアアル今ニ下卷ガ出來ルト下我邦デ唯一ノ動物學講義トナルノデアアル。

○理學士 松村松年著 昆蟲分類學 全一冊  
定價金六圓 京橋尾張町 警醒社書店發行

本書ハ日本昆蟲學ノ改板トモ稱スベキモノデアルトハ著者ノ言明デアアルガ昆蟲分類學トイフ書物ハ實ニ明治四十年ノ發行デ爾後十年ノ今日初メテ其下卷ガ出來テ完結ヲ見タ譯デアアル然ルニ發行所デモ餘リ長イノデ上卷ノ事ヲ閑却シタノガ今回發行ノモノハ全一卷トナツテ現ハレタ其レ故上卷(定價五圓)所持者ハ其レガ餘剩ナルニ譯デ然

モ今回發行ノ上半即チ上卷ニハ少シモ訂正ヲ施シテハ無イ圖書ヲ刊行スル者ハ少シク購讀者ノ身ニモ成ツテ吳レスト困ル是デハ無理押シツケニ二重買ヲサス様ナモノデアアル以上ハ紹介者トシテ著者并ニ發行者ニ向ツテノ希望デアアル次ギニ會員諸君ニ向ツテ何ハ兎モアレ現時ニ於ケル昆蟲分類學ノ一般ヲ知ラウトスルニハ此書ヲ置イテ外ニハ求メラレヌ初ニ著者ノイフタ日本昆蟲學トイフノハ二百六十三頁ト二百二十九圖ヲ有スル小冊子デ在ルニ反シテ此書ハ上下合セテ七百五十餘頁插圖ハ上卷ニ三百九十二種下卷ニ百二十八種(五枚ノ圖版トシテ)合セテ五百餘ノ圖解ガアツテ好參考書デアアル

○理學士 著 普通動物圖譜 全一冊  
定價貳圓五拾錢 日本橋通三 成美堂發行

本書ハ普通ノ動物ヲ撰ンデ記述シタモノデ紙數四百七頁ノ内其半位ヲ插圖ノ面積ニ費シ圖ハ悉ク木版デ頗ル鮮明ナル事ハ恐ラク此著ノ長所デアラウ説明モ簡單デ要ヲ得テ居ル今少シク其内容ヲ分量デ分ケテ見ルト。

緒論 四頁圖一 哺乳類 百十八頁圖九十六  
鳥類 八十二頁圖七十一 爬蟲類兩棲類二十八頁圖二十二  
魚類 四十八頁圖四十

以上有脊推動物合計 二百八十頁圖二百三十ナルニ對シテ無脊推動物ノ僅カ百二十八頁圖一百特ニ原生動物ノ二頁半圖三ナルハ甚ダ遺憾デ在ル今日一般ニ必要ナルニモ係ラズ缺ケテ居ル智識ハ下等動物ニ就テバアラウ著者再版ノ時ニハ是非此點ヲ増補シテ貰ヒタイノデアアル然シ

著者トシテ小學校教員ノ參考書タラシメ併セテ中等教育ノ參考書タラシメントスルノデ此様ナ編纂方ヲシタモノラシイガ其ニシテモ上述ノ希望ハ依然存シテ置ク。

○理 學 士 著 日本産魚類圖説 第二十二卷迄

各卷定價金壹圓 本郷區西須賀町九 田中茂穂發行  
此圖説ハ每卷少キハ四五種多キハ十種位ヲ和英兩文ニテ説明シタルモノ卷ヲ重スルニ從テ其効果ノ顯ハレ來ルハイフ迄モナク著者ノ熱心ハ必ズ是ヲ大成スルノ日アルベキヲ信ジ且ツ祈ル所デアル慾ヲイヘバ天然色ヲツケテ欲シイ是レハ購求者ガ増加スレバ自然ニ出來ル事デアラウト思ハレル。

○醫 學 士 永井潛著 生命論 定價參圓參拾錢

同 生物學と哲學との境 定價參圓八拾錢

東京麴町區平河町 洛陽堂發行

同 人性論 定價貳圓參拾錢

東京市京橋區南紺屋町 實業の日本社發行

三書悉クヲ通讀シタ譯デハ無イガ生命論ハ遺傳論ヲ面白ク説イタモノデ初版ハ大正二年ノ出版ニカ、リ爾來版ヲ重スル三號第四版ニ至ツテ索引ヲ附シ凡ソ二百頁ヲ増シテ居ル博士ノ著ハ實ニ讀ム者ヲシテ卷ヲ蓋フテ忘レシメルトイフ流暢ナ文章デ深イ學說ヲ一瀉千里ニ説キ去リ説キ來ル所ハ敬服ノ外ハナイ人性論ハ私ハ讀マヌガー在學生ハ是ヲ讀ンデ「人性といふ事を初めて知りました」トイッテ居ツタ是レヲ以テ此卷ノ紹介トシ(生物學と哲學との境)ハ本年四月ノ發行デアアルガ私ハ其過半ヲ讀ンダマケデ

全部ヲ見ナイカラ内容ノ事ハ略シテ唯書名ノ紹介ニ止メテ置カウ六百六十二頁デ生命論ヨリモ百頁バカリ多イカナリ大部ノモノデ在ル。(平島)

植 物

理學博士 岡村金太郎著

日本藻類名彙 成美堂發行 定價貳圓八拾錢

本書は現今本邦より知られ居る總ての藻類の完全なる集録にして殊に檢索表を附し又種毎に簡短に性質産地を記載せられたれば此類の智識を與ふる上に於て最も有益なるものなり、前版と比して非常に改良進歩せられたるを見る。

理學博士 松村任三編

改訂 植物名彙 前編五〇〇頁 正價貳圓八拾錢 丸善發行  
後編六六七頁 正價 四 圓

植物名彙は植物學を修むるもの園藝山林等の事業に關係せる士には缺くべからざるものたることは今更説くの必要なきも前版出版以後二十年に近く植物の新に見出せられたるもの甚だ少からず、故に著者は前後の兩編に分ち前編には漢名對羅匈名とし、後編は日本名と羅匈名のみと分たれたり、尙隱花植物は顯花植物と分ちて檢索する様にせられたり、蓋し日本植物の最も進歩せる見地よりせる學名を知るに最も必要なるものなり、然れども使用上より前後兩編に分ちし爲め多少の不便を免れず。

理學士 石川光春著

植物の構造と生殖 定價壹圓 内田老鶴圃發行

著者は曾て米國のアトキンソン教授の下に助手として勤務せられし人にして第一章より第四章迄は植物體の構造細胞等の初學者には分り惡き兎角無味の様に感ぜられる邊を平易に丁寧之又進歩したる見方より記されたるものにて挿圖なども著者自身のもの多く讀んだ丈にても中々面白く分り易き有益のものなり第五章は殆んど全卷の半を費して植物の生殖を下等のものより高等なる顯花植物迄に説き及し講話的の極めて有用なる文字なり。(矢部)

### 検定試験問題

#### 第三十回 教員検定豫備試験化學科問題 大正五年度

- (一)電解質の水溶液の比傳導度及び分子傳導度とは何か又此等を測定する方法を記せ。
- (二)dを密度としpを百分率とするときは鹽酸及び苛性曹達水溶液に於て次の關係ありとす。

$$\text{鹽酸} \quad d=1+\frac{p}{200}$$

$$\text{苛性曹達} \quad d=1+\frac{p}{90}$$

- 今密度 1.1 の鹽酸五リットルを中和するに要する密度 1.1 の苛性曹達水溶液の體積幾リットルなりや。
- (三)放射性元素の研究は化學の根本思想に如何なる變更を必要とせしめしや又エレクトロンとは如何なるものなるか。
- (四)マッチ工業の原料として必要なる化學藥品二種の製造

法を詳記せよ。

- (五)鐵コバルト及びニッケルの單體及び其酸化物の性質を比較せよ且つ定性分拆に於て此等の三元素を分離する方法を記せ。
- (六)アルミニウムを粘土より製する方法を問ふ。
- (七)醋酸よりアセトアミドを製する方法三種アセトアミドを醋酸に變ずる方法二種及びアセトアミドをメチルアミンに變ずる方法一種を記せ。
- (八)キノリン誘導體を合成するスクラウブ氏の方法を問ふ。
- 以上四時間。

#### 第三十回 教員検定本試験理科問題 大正五年度

- 一次記の物を教授用標品に製作保存する方法手續を記せ
- トンボ      アラムシ  
鳥卵      ヒメハムシ
- 二次に掲ぐる物の性狀用途を記せ
- コブラ      マニラ麻      バルブ  
林投      チャーク
- 二腐敗バクテリアをプレパラートに製作する手續を記せ
- 四化石に關して教授すべき事項並に方法を述べよ。
- 五水道の導管として鉛が用ひてあることは衛生上支障なきものか。
- 六牛乳の良否を判別する方法中最も普通なるものを述べよ。
- 七高山に雲雨多き理由及び其氣候寒冷なる理由如何。